

と き：令和元年 8 月 29 日(木) 14：00～

ところ：市政記者室

## ■ 「認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち」の実現に向けて

＜担当：福祉局高齢者施策部高齢福祉課（認知症施策グループ） 電話：06-6208-8051＞

【フリップあり】

- ◆ 大阪市では、平成 31 年 4 月 1 日現在、認知症高齢者数は約 7 万 5 千人となっている。現在、65 歳以上の高齢者の約 7 人に 1 人が認知症であると推計されており、令和 7 年には、その割合は約 5 人に 1 人になると見込まれていることから、今後も増加が見込まれる。
- ◆ そのような中、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざし、あらゆる世代や立場の人が協力して、認知症の人にやさしいまちづくりに取り組むため、平成 30 年 2 月に「認知症の人をささえるまち大阪宣言」を行った。
- ◆ その宣言に掲げる中の一つである「認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち」の実現に向けては、認知症の初期の段階ではまだ様々なことができる能力があるにも関わらず、活動する場がないことなどが課題となっている。そのため、認知症の人が社会で活躍できるための取組を全国に先駆けて行っていく。
- ◆ その取組の一つとして、令和元年 9 月 6 日（金）の 13 時 30 分から 15 時 30 分の約 2 時間、大阪市役所の地下 2 階にあるカフェ英國屋で「ゆっくりカフェ in 英國屋」を開催する。
- ◆ 英國屋のご協力のもと、認知症の人が、カフェ英國屋の店員として従事し、注文を聞いたり飲み物を届けたりする。注文を間違えることもあるかもしれないが、認知症の人が社会で役割を得ていきいきと活動している姿や言葉を発信することは、認知症に関する社会の見方を変えるきっかけになるとともに、認知症の人を含む多くの人の希望につながるものである。そして、社会全体に認知症に対する正しい知識や理解を深めていただき、認知症の人を受け入れることができるまちにしていきたいと考えている。ぜひお越しいただきたい。
- ◆ また、令和元年 7 月に認知症の人の社会活動を推進するため、「大阪市認知症の人の社会活動推進センター（愛称：ゆっくりの部屋）」を開所している。
- ◆ 認知症の人自身が、認知症と診断された人からの相談を受ける「ピア活動」を行うとともに、認知症の人の生きがいや居場所づくり、社会活動の場の創出などを行っているので、こちらも併せて活用いただきたい。
- ◆ そのほかにも、様々な認知症施策を推進しており、各区 1 か所の地域包括支援センターには、「認知症初期集中支援チーム」を設置している。こちらの窓口にご相談いただければ、専門職がご家庭を訪問し、認知症疾患医療センターなど適切な医療や介護サービスなどにつないでいく。
- ◆ 認知症の疑いのある人には、早期に気づいて、適切に対応することが重要である。ぜひ、お近くの認知症初期集中支援チームに、早めのご相談をお願いしたい。